

市町村タイムライン(川、 川、 川) H30.7 詳細版

ステージ 1

フェーズ	主な対応	具体的な対応	管理 No	詳細項目	確認すべき事柄		
タイムライン運用開始(タイムラインステージ1)の判断・意思決定							
目安の時間 -72h	情報収集・分析	気象情報の収集	1	台風進路情報の収集、確認	気象台から発表される気象情報を確認し、当地方へはいつ頃最接近するのか、また、どのような影響(雨、風、高潮等)がいつ頃から始まるのかを確認し、防災体制の準備をする。 何日頃から警報級の現象となるのか、その確率は「中」なのか「高」なのかを確認し、県気象情報とあわせて、防災体制の準備をする。 規模が大きく、影響が大きいと判断された場合は、気象台から防災メール又は、週末であればホットラインがあるので、防災体制を取る準備をする。		
			2	県気象情報の確認			
			3	警報級の可能性の確認			
			4	気象台からの防災メール又はホットライン(担当レベル)*状況に応じて			
		水位情報等の確認	5	水位情報の確認			
			6	洪水ハザードマップの再確認(全職員)			
		関係機関への助言依頼	7	地方気象台への助言依頼			
			8	河川事務所への助言依頼			
			9	県への助言依頼			
		タイムライン運用に関する判断・意思決定	判断・意思決定	10		タイムライン運用に関する判断・意思決定	
		情報共有	情報共有	11		タイムライン運用に関する意思決定内容の情報共有	
タイムラインステージ1(準備)							
今後の対応方針の検討	情報共有会議	情報共有	12	気象情報・河川情報の共有(情報共有会議)			
			13	今後の予測(現象・被害想定)に関する共有			
庁内(支所)における災害対応の事前確認	各種基準・手順等の事前確認	庁内の情報共有	14	今後の対応方針の協議・決定			
			15	今後の予測・見込を踏まえた注意喚起(庁内・支所)			
			16	今後の対応方針に関する周知(庁内・支所)			
			17	ポンプ稼働等の各基準の再確認			
小中学校等の休校措置	休校措置等の検討	各種基準・手順等の事前確認	18	災害対応時の情報伝達経路・手段の再確認(全職員)			
			19	災害対応時の指揮命令系統の再確認(全職員)			
			20	避難所の解錠手順の確認			
			21	避難所の開設・運営手順の再確認			
			22	情報の集約・分析			
			23	学校等休校措置の検討・判断			
			24	気象情報等の周知と注意喚起(保育所関係)			
			25	保育所の休所の可能性あることの周知			
			26	保育所の休所判断基準に関する周知			
			27	樋門管理人への連絡			
市町村管理施設の点検	排水施設等の点検・確認	各種基準・手順等の事前確認	28	樋門ゲート等の動作確認			
			29	スクリーンの確認(ごみ撤去)			
			30	排水ポンプ場設備点検及び試運転			
			31	排水ポンプ場の燃料残量確認			
			32	(必要に応じて)ポンプ用発電機の手配			
			33	排水ポンプ委託業者への準備の連絡			
			34	農業用水の調整・水門ゲートの閉鎖状況の確認			
			35	災害時要配慮者情報(名簿)の準備・共有			
			36	土のうの在庫確認			
			37	土のうの準備・補充			
災害対応の事前点検・準備	住民避難支援の準備	災害対応資材の準備	38	広報車両の準備(市町村)(管財課)			
			39	広報車両の準備(消防本部)			
			40	広報車両の準備(消防団)			
			41	周知内容の精査(避難方法や避難の必要性など)			
住民への事前周知・広報準備	住民への周知準備	災害対応資材の準備	42	防災WEB(SNS含む)での住民周知準備			
			43	メールでの住民周知準備			
			44	メールでの住民周知準備			

市町村タイムライン(川、 川、 川) H30.7 詳細版

ステージ 2

フェーズ	主な対応	具体的な対応	管理 No	詳細項目	確認すべき事柄		
タイムラインステージ2への移行の判断・意思決定							
目安の時間 -48h ~ -24h	情報収集・分析	気象情報の収集	44	台風進路情報の収集、確認	気象台から発表される気象情報を確認し、あらためて当地方へは、いつ頃最接近するのか、また、どのような影響(雨、風、高潮等)がいつ頃から始まるのかを確認し、防災体制の準備をする。 48時間前に大まかな、36時間前に詳細な量的予想が発表されるので、住民の避難が行われた場合の計画を立てる。 何時頃警報級の現象となるのか、その確率は「中」なのか「高」なのかを確認し、県気象情報とあわせて、防災体制の準備をする。 規模が大きく、影響が大きいと判断された場合は、気象台から防災メール又は、ホットラインがあるので、防災体制を取る準備をする。 避難等に言及したコメント等や、気象のサブシナリオ等を確認する。		
			45	県気象情報の確認			
			46	警報級の可能性の確認			
			47	気象台からの防災メール又はホットライン(担当レベル)*状況に応じて			
		水位情報等の確認	48	予報官コメントの確認			
			49	水位情報の確認			
		関係機関への助言依頼	50	地方気象台への助言依頼			
			51	河川事務所への助言依頼			
			52	県への助言依頼			
		タイムラインステージ移行に関する判断・意思決定	判断・意思決定	53		タイムライン運用に関する判断・意思決定	
		情報共有	情報共有	54		タイムライン運用に関する意思決定内容の情報共有	
タイムラインステージ2(注意)							
今後の対応方針の検討	情報共有会議	情報共有	55	気象情報・河川情報の共有(情報共有会議)			
			56	今後の予測に関する共有			
庁内(支所)における災害対応の事前準備	人員配置・体制構築	庁内の情報共有	57	人員体制に関する確認(注意体制)			
			58	今後の対応方針の見直し・協議			
			59	情報共有会議結果の所属内情報共有			
			60	今後の予測・見込を踏まえた注意喚起(庁内・支所)			
小中学校等の休校措置の決定と周知	休校措置に関する周知・情報共有	人員配置・体制構築	61	注意体制に基づく人員配置			
			62	報道対応体制の確認			
			63	道路規制に備えた箇所の確認(事前)			
			64	備蓄品等運搬車両の確保(管財課)			
			65	翌日休校の決定			
			66	給食の中止			
			67	児童・生徒への翌日休校の通知			
			68	保護者への連絡指示			
			69	市町村役所内での休校措置に関する情報共有			
			70	ホームページでの休校のお知らせ			
保育所の休所措置の決定と周知	休所措置に関する周知・情報共有	人員配置・体制構築	71	休校措置に関する報道への連絡			
			72	休所時期・期間の決定			
災害対応の事前点検・準備	住民への事前周知・広報	周知の準備・実施(注意喚起)	73	保育所利用者に対する休所の連絡			
			74	庁内での休所情報の共有			
住民への事前周知・広報	周知の準備・実施(注意喚起)	周知の準備・実施(注意喚起)	75	災害対応に使用する車両の確認・点検(管財課)			
			76	住民に配布する土のうの準備			
			77	周知方法(ツール)の決定			
			78	周知文の作成			
			79	車両による注意喚起広報の実施(市町村)			
			80	車両による注意喚起広報の実施(消防本部)			
			81	車両による注意喚起広報の実施(消防団)			
			82	災害に強い情報連携システムでの周知			
			83	開設する避難施設の選定			
			84	施設管理者への要請			
避難施設の準備	避難所体制の構築	避難所体制の構築	85	避難所に関する役割(開設・運営等)の再確認			
			86	避難所別の対応職員の割り振りの作成			
			87	避難所対応職員の周知			
			88	各避難所の必要物品の準備			
			89	必要となる備蓄品等の内容と量の確認			

市町村タイムライン(川、 川、 川) H30.7 詳細版

フェーズ	主な対応	具体的な対応	管理 No	詳細項目	
タイムラインステージ3への移行の判断・意思決定					
目安の時間 -12h~	情報収集・分析	気象情報の収集	90	台風情報の収集、確認	これまでの実況及び今後の予想を確認し、防災対応の引き上げを検討する。 15時間先までの降水の状況を確認し、県程度の広がり(降水の分布)や推移(降水のピーク)に着目し確認する。 翌朝までの警報級の可能性を確認。夜から翌朝までの確立が「高」である場合は、体制を強化の検討をする。 警報級の現象が、「いつ、から始まっていつ、まで続くのか、量的にはどの程度見積もっているのか、警戒する時間帯はいつなのか確認し、今後の防災対応の確認をする。 自分の街の対象河川が6時間先までどのような状況となるのか確認し、危険な状況が予想される場合は、防災対応の引き上げを検討する。 ・紫 色:避難勧告を検討(流域雨量指数の予測値が洪水警報基準を大きく超過する場合) ・赤 色:避難準備・高齢者避難開始を検討(流域雨量指数の予測値が洪水警報基準に到達する場合) 高解像度降水ナウキャストを確認し、近くにある強い雨雲がどのような動きをしているのか、1時間先にどこへ移動するのか確認し、強い雨域が近づくとような場合は、必要な防災対応をとる。 災害の危険性が切迫した場合に、気象台から連絡をするので、早めの避難情報を検討する。 避難等に言及したコメント等を確認。また、気象のサブシナリオ等を確認
			91	県気象情報の確認	
			92	降水短時間予報(15時間先の予報)の確認	
			93	警報級の可能性の確認	
			94	危険度を色分けした時系列情報の確認	
			95	流域雨量指数の時系列情報の確認(防災情報提供SYS)	
			96	高解像度降水ナウキャストによる降雨の確認	
		97	気象台からのホットライン(課長レベル)*状況に応じて		
		水位情報等の確認	98	予報官コメントの確認	
			99	水位情報の確認(水防団待機水位に注意)	
			100	水防警報(待機・準備)の確認	
		現地情報の収集	101	川、川水位予測の確認	
			102	パトロールによる現地確認	
		関係機関への助言依頼	103	地方気象台への助言依頼	
104	河川事務所への助言依頼				
105	県への助言依頼				
タイムラインステージ移行に関する判断・意思決定	判断・意思決定	106	タイムライン運用に関する判断・意思決定		
	情報共有	107	タイムライン運用に関する意思決定内容の情報共有		

タイムラインステージ3(警戒)					
	今後の対応方針の検討	情報共有会議	108	気象情報・河川情報の共有(情報共有会議)	
			109	今後の予測(現象・被害想定)に関する共有	
			110	人員体制に関する確認・決定(警戒体制)	
		庁内の情報共有	111	今後の対応方針の見直し・協議	
			112	市町村長・副市町村長への状況報告	
			113	情報共有会議結果の所属内情報共有	
			114	今後の予測・見込を踏まえた注意喚起(庁内)	
			115	災害対策本部の設置	
			116	水防本部設置(警報発表)	
		庁内等の体制整備	117	消防団の待機	
			118	警戒体制	
			119	報道対応体制に関する確認	
		災害に備えた体制整備	外部からの支援受入	120	リエゾンの派遣要請(避難判断が必要になる場合など必要に応じ)
		(避難情報と連動)住民避難対応の実施 【川・川・川】 (夜間から明朝にかけて氾濫注意水位を超過することが予想される場合)	指定避難所の開設準備	121	避難所担当職員の招集
				122	指定避難所の解錠
				123	避難所の開設準備
				124	備蓄品等の準備
				125	備蓄品等の搬入(市町村民課、商業労政課)
			災害時要援護者対応の実施	126	要配慮者対応職員の配置
127	福祉避難所への事前連絡				
128	要配慮者利用施設等への避難準備情報の通知				
129	福祉避難所担当職員の招集				
130	福祉避難所の開設準備				
131	福祉避難所への備蓄品等の準備				
132	福祉避難所へ備蓄品等の搬入(市町村民課、商業労政課)				
133	災害時要配慮者情報(名簿)の共有				
134	消防署・消防団による要支援者の避難支援(要請含む)				
135	開設する避難所に関する全職員への情報周知				
	庁内の情報共有				

市町村タイムライン(川、 川、 川) H30.7 詳細版

フェーズ	主な対応	具体的な対応	管理 No	詳細項目	
タイムラインステージ3(警戒)					
	指定避難所以外の対応	避難情報の発表 (予測される降雨・水位上昇から総合的に判断)	136	避難準備・高齢者等避難開始の発令	
			137	避難準備・高齢者等避難開始の周知	
		指定避難所以外の施設の対応	138	避難準備・高齢者等避難開始発表の報道周知	
			139	指定避難所以外の避難者の状況把握	
			140	備蓄品等の搬入	
			141	避難者名簿の作成	
		住民周知・広報対応の実施	避難者の把握	142	避難者情報の報告
				143	周知内容の決定
				144	災害に強い情報連携システムでの周知
				145	指定避難所開設の住民周知
				146	広報車による避難情報の原稿作成
			住民への広報・周知	147	広報車両の手配(市町村)(管財課)
				148	広報車両の手配(消防本部)
				149	広報車両の手配(消防団)
				150	広報車対応職員の配置(総務企画課、消防本部)
				151	消防団への広報依頼(対象地区)
被害対策の準備	マスコミと連携した広報の実施	152	広報車両の運行(総務企画課、消防本部、消防団)		
		153	民放ラジオへの割り込み依頼		
		154	マスコミへのFAX送信		
	浸水対策の実施	155	浸水被害対応業者への指示		
		156	委託業者を含む現場作業員到着・準備完了		
		157	土のう積み・配置		
現地パトロール	158	排水対応の現場準備完了と活動開始			
	159	排水ポンプの準備			
	160	道路パトロールの実施			
	161	災害危険個所のパトロールの実施			

市町村タイムライン(川、 川、 川) H30.7 詳細版

ステージ 4

フェーズ	主な対応	具体的な対応	管理 No	詳細項目		
タイムラインステージ4への移行の判断・意思決定 (避難準備・高齢者等避難開始)						
目安の時間 -4h	情報収集・分析	気象情報の収集	162	台風情報の収集、確認	これまでの実況及び今後の予想を確認し、防災対応の引き上げを検討する。 警報級の現象が、「いつ」から始まって「いつ」まで続くのか、量的にはどの程度見積もっているのか、警戒する時間帯はいつなのか確認し、今後の防災対応の確認をする。 自分の街の、河川が3時間先までどのような状況か、土砂が2時間先までどのような状況か、浸水が1時間先までどのような状況か確認し、危険な状況が予想される場合は、防災対応の引き上げを検討する。 ・濃い紫：避難指示を検討 ・薄い紫：避難勧告を検討 ・赤 色：避難準備・高齢者避難開始を検討 自分の街の対象河川が6時間先までどのような状況となるのか確認し、危険な状況が予想される場合は、防災対応の引き上げを検討する。 ・紫 色：避難勧告を検討(流域雨量指数の予測値が洪水警報基準を大きく超過する場合) ・赤 色：避難準備・高齢者避難開始を検討(流域雨量指数の予測値が洪水警報基準に到達する場合) 高解像度降水ナウキャストを確認し、強い雨雲がどのような動きをしているのか、1時間先にどこへ移動するのか確認し、防災対応の準備をする又は行動をとる。 災害の危険性が切迫した場合に、気象台から連絡をするので、避難情報を検討する。	
			163	県気象情報の確認		
			164	危険度を色分けした時系列情報の確認		
			165	危険度分布の確認		
			166	流域雨量指数の時系列情報の確認(防災情報提供SYS)		
			167	高解像度降水ナウキャストによる降雨の確認		
			168	気象台からのホットライン(課長レベル)*状況に応じて		
		水位情報等の確認	169	水位情報の確認(氾濫注意水位に注意)		
			170	水防警報(出動)の確認		
			171	川、川洪水予報の確認		
		現地情報の収集	172	川、川水位予測の確認		
			173	パトロールによる現地確認(内水)		
		関係機関への助言依頼	174	パトロールによる現地確認(外水)		
			175	地方気象台への助言依頼	次の行動に判断がつかない場合は、気象台に今後の気象予測について助言を求める。	
			176	河川事務所への助言依頼		
			177	県への助言依頼		
			178	タイムライン運用に関する判断・意思決定		
		タイムラインステージ移行に関する判断・意思決定	判断・意思決定 情報共有	179	タイムライン運用に関する意思決定内容の情報共有	
		タイムラインステージ4(行動)				
今後の対応方針の検討	情報共有会議	180	気象情報・河川情報の共有(情報共有会議)			
		181	今後の予測(現象・被害想定)に関する共有			
		182	災害対策本部委員会の設置時期に関する認識共有			
		183	今後の対応方針の見直し・協議			
		184	市町村長・副市町村長への状況報告			
	庁内の情報共有	185	現況情報(雨量等)に関する全職員への情報周知			
		186	今後の見込(雨のピーク等)の情報周知			
		187	リエゾンの派遣要請			
		188	ホットライン(河川事務所長及び建設事務所長から市町村長)の確認			
		189	避難所担当職員の招集			
災害に備えた体制整備	外部からの支援受入 外部機関からの助言	190	指定避難所の解錠			
		191	指定避難所の開設準備			
		192	備蓄品等の準備			
	住民避難対応の実施(再掲)	指定避難所の開設準備	193	備蓄品等の搬入(市町村民課、商業労政課)		
			194	要配慮者対応職員の配置		
			195	福祉避難所への事前連絡		
			196	要配慮者利用施設等への避難準備情報の通知		
			197	福祉避難所担当職員の招集		
			198	福祉避難所の開設準備		
			199	福祉避難所への備蓄品等の準備		
			200	福祉避難所へ備蓄品等の搬入(市町村民課、商業労政課)		
			201	災害時要配慮者情報(名簿)の共有		
			202	消防署・消防団による要支援者の避難支援(要請含む)		
203	開設する福祉避難所に関する全職員への情報周知					
庁内の情報共有	203	開設する福祉避難所に関する全職員への情報周知				

市町村タイムライン(川、 川、 川) H30.7 詳細版

ステージ 4

フェーズ	主な対応	具体的な対応	管理 No	詳細項目		
タイムラインステージ4(行動)						
避難情報の発表(再掲)	避難情報の発表	204	避難準備・高齢者等避難開始の発令			
		205	避難準備・高齢者等避難開始の周知			
		206	避難準備・高齢者等避難開始発表の報道周知			
		207	周知内容の決定			
		208	災害に強い情報連携システムでの周知			
		209	指定避難所開設の住民周知			
		210	広報車による避難情報の原稿作成			
		211	広報車両の手配(市町村)(管財課)			
		212	広報車両の手配(消防本部)			
		213	広報車両の手配(消防団)			
住民周知・広報対応の実施(再掲)	住民への広報・周知	214	広報車対応職員の配置(総務企画課、消防本部)			
		215	消防団への広報依頼(対象地区)			
		216	広報車両の運行(総務企画課、消防本部、消防団)			
		217	民放ラジオへの割り込み依頼			
		218	マスコミへのFAX送信			
		浸水対応・水防活動の実施	マスコミと連携した広報の実施	219	浸水箇所情報の収集	
				220	浸水箇所情報の職員等への周知	
				221	危険箇所(アンダーパス等)への通行・立ち入り禁止措置	
				222	排水ポンプによる排水作業	
				223	委託業者への土のう積み指示	
224	土のうの配布					

市町村タイムライン(川、 川、 川) H30.7 詳細版

ステージ 5

フェーズ	主な対応	具体的な対応	管理 No	詳細項目		
タイムラインステージ5への移行の判断・意思決定 (避難勧告)						
目安の時間 -3h	情報収集・分析	気象情報の収集	225	県気象情報の確認	これまでの実況及び今後の予想を確認し、防災対応の引き上げを検討する。	
			226	危険度分布の確認	自分の街の、河川が3時間先までどのような状況か、土砂が2時間先までどのような状況か、浸水が1時間先までどのような状況か確認し、危険な状況が予想される場合は、防災対応の引き上げを検討する。 ・濃い紫：避難指示を検討 ・薄い紫：避難勧告を検討 ・赤：色：避難準備・高齢者避難開始を検討	
			227	累加雨量の確認	降り始めからの雨量を防災情報提供システムなどから確認して、過去の雨量と照らして必要であれば、気象台に照会し状況の確認をする。	
			228	流域雨量指数の時系列情報の確認(防災情報提供SYS)	自分の街の対象河川が6時間先までどのような状況となるのか確認し、危険な状況が予想される場合は、防災対応の引き上げを検討する。 ・紫：色：避難勧告を検討(流域雨量指数の予測値が洪水警報基準を大きく超過する場合) ・赤：色：避難準備・高齢者避難開始を検討(流域雨量指数の予測値が洪水警報基準に到達する場合)	
			229	高解像度降水ナウキャストによる降雨の確認	高解像度降水ナウキャストを確認し、強い雨雲がどのような動きをしているのか、1時間先にどこへ移動するのか確認し、防災対応の準備をする又は行動をとる。	
			230	気象台からのホットライン(課長レベル)*状況に応じて(特別警報級の場合は気象台長から市町村長へ)	災害の危険性が切迫した場合に、気象台から連絡をするので、防災体制の引き上げを検討する。	
		水位情報等の確認	231	水位情報の確認(避難判断水位に注意)		
			232	川、川洪水予報の確認		
			233	川、川水位予測の確認		
		現地情報の収集	234	パトロールによる現地確認(内水)		
			235	パトロールによる現地確認(外水)		
			236	浸水状況、交通規制等に関する情報の集約		
		関係機関への助言依頼	237	地方気象台への助言依頼		次の行動に判断がつかない場合は、気象台に今後の気象予測について助言を求める。
			238	河川事務所への助言依頼		
239	県への助言依頼					
タイムラインステージ移行に関する判断・意思決定	判断・意思決定	240	タイムライン運用に関する判断・意思決定			
情報共有	情報共有	241	タイムライン運用に関する意思決定内容の情報共有			
タイムラインステージ5(避難)						
今後の対応方針の検討	災害対策本部会議	情報共有会議	242	気象情報・河川情報の共有(情報共有会議)		
			243	今後の予測(現象・被害想定)に関する共有		
			244	浸水状況、交通規制等に関する情報の共有		
			245	市町村長、副市町村長への状況報告		
		庁内の情報共有	246	災害対策本部会議		
			247	避難勧告の発表時期の見込に関する意識共有		
			248	現場対応職員の安全確保(撤退)時期の確認		
			249	現地情報(浸水や交通規制等)に関する全職員への情報周知		
			250	今後の見込(雨のピークや想定される現象)の情報周知		
			251	現場対応職員の安全確保(撤退)時期・基準の周知		
		災害に備えた体制整備	体制構築	252	指定避難所の開設増の検討	
			外部からの支援受入	253	リエゾンの派遣要請	
		避難情報の発表	外部機関からの助言	254	ホットライン(河川事務所長及び建設事務所長から市町村長)の確認	
			避難情報の発表	255	増設避難所(学校等)への開設連絡	
256	避難勧告の発令					
住民避難対応の実施	関係機関へ連絡	体制構築	257	避難所の開設(増設の場合)(人員増は人事課協議)		
		258	警察署へ避難勧告発令の連絡			
		259	消防署へ避難勧告発令の連絡			
	住民避難支援の実施	260	消防団へ避難勧告発令の連絡			
		261	避難の呼びかけの実施			
		262	避難所への誘導			
		263	避難所情報の集計			
		264	避難者名簿の作成			
		265	避難者情報の報告			
		266	避難者の医療情報の確認			
		267	逃げ遅れ住民の救助要請対応			

市町村タイムライン(川、 川、 川) H30.7 詳細版

ステージ 5

フェーズ	主な対応	具体的な対応	管理 No	詳細項目	
タイムラインステージ5(避難)					
住民周知・広報対応の実施	住民への広報・周知		268	周知エリアの選別	
			269	災害に強い情報連携システムによる避難勧告の周知	
			270	広報車による避難情報の原稿作成	
			271	広報車対応職員の配置(総務企画課、消防本部)	
			272	広報車両の運行(総務企画課、消防本部、消防団、支所)	
	マスコミと連携した広報の実施	273	民放ラジオへの割り込み依頼(避難勧告)		
		274	マスコミへのFAX送信(避難勧告)		
		現場対応の完了	275	道路啓開の現場準備完了 活動開始	
			276	排水対応の現場活動完了	
			277	浸水防止対応の現場準備完了	
278	道路啓開の現場対応完了				
現場撤退の意思決定	279	水位予測に基づく撤退完了時期の意思決定			
	280	委託業者を含む現場作業員撤退指示・周知			
	現場撤退に関する周知	281	災害の恐れがあるために職員が撤退することを周辺に周知		
		282	撤退完了目標時期に関する周辺住民への周知		

市町村タイムライン(川、 川、 川) H30.7 詳細版

フェーズ	主な対応	具体的な対応	管理 No	詳細項目		
タイムラインステージ6への移行の判断・意思決定 (避難指示(緊急))						
目安の時間 -1h	情報収集・分析	気象情報の収集	283	累加雨量の確認	降り始めからの雨量を防災情報提供システムなどから確認して、過去の雨量と照らして必要であれば、気象台に照会し状況の確認をする。	
			284	危険度分布の確認	自分の街の、河川が3時間先までどのような状況か、土砂が2時間先までどのような状況か、浸水が1時間先までどのような状況か確認し、危険な状況が予想される場合は、防災対応の引き上げを検討する。 ・濃い紫: 避難指示を検討 ・薄い紫: 避難勧告を検討 ・赤 色: 避難準備・高齢者避難開始を検討	
			285	流域雨量指数の時系列情報の確認(防災情報提供SYS)	自分の街の対象河川が6時間先までどのような状況となるのか確認し、危険な状況が予想される場合は、防災対応の引き上げを検討する。 ・紫 色: 避難勧告を検討(流域雨量指数の予測値が洪水警報基準を大きく超過する場合) ・赤 色: 避難準備・高齢者避難開始を検討(流域雨量指数の予測値が洪水警報基準に到達する場合)	
			286	高解像度降水ナウキャストによる降雨の確認	高解像度降水ナウキャストを確認し、強い雨雲がどのような動きをしているのか、1時間先にどこへ移動するのか確認し、防災対応の準備をする又は行動をとる。	
			287	気象台からのホットライン(課長レベル)*状況に応じて(特別警報級の場合は気象台長から市町村長へ)	災害の危険性が切迫した場合に、気象台から連絡をするので、防災体制の引き上げを検討する。	
		水位情報等の確認	288	水位情報の確認(氾濫危険水位に注意)		
			289	川、 川洪水予報の確認		
			290	川、 川水位予測の確認		
		現地情報の収集	291	パトロールによる現地確認(内水)		
			292	パトロールによる現地確認(外水)		
			293	浸水状況、交通規制等に関する情報の集約		
		関係機関への助言依頼	294	地方気象台への助言依頼		次の行動に判断がつかない場合は、気象台に今後の気象予測について助言を求める。
			295	河川事務所への助言依頼		
			296	県への助言依頼		
タイムラインステージ移行に関する判断・意思決定	判断・意思決定	297	タイムライン運用に関する判断・意思決定			
情報共有	298	タイムライン運用に関する意思決定内容の情報共有				
タイムラインステージ6(避難・退避)						
目安の時間 -0h	今後の対応方針の検討	情報共有会議	299	気象情報・河川情報の共有(情報共有会議)		
			300	今後の予測(現象・被害想定)に関する共有		
			301	浸水状況、交通規制等に関する情報の共有		
		災害対策本部員会議	302	市町村長、副市町村長への状況報告		
			303	災害対策本部員会議		
			304	避難指示(緊急)の発表時期の見込に関する意識共有		
	庁内の情報共有	305	現場対応職員への安全確保(撤退)時期の確認			
		306	現地情報(浸水や交通規制等)に関する全職員への情報周知			
		307	今後の見込(雨のピークや想定される現象)の情報周知			
		308	現場対応職員への安全確保(撤退)時期・基準の周知			
	住民への安全確保の呼びかけ・広報対応の実施	外部機関からの助言 避難情報の発表	309	ホットライン(河川事務所長及び 建設事務所長から市町村長)の確認		
			310	避難指示(緊急)の発令		
			311	周知エリアの選別		
		住民への広報・周知	312	災害に強い情報連携システムによる避難指示(緊急)の周知		
313			広報車による避難情報の原稿作成(直ちに避難所へ避難、2階等へ逃げる)			
314			広報車対応職員の配置(総務企画課、消防本部)			
マスコミと連携した広報の実施	315	広報車両の運行(総務企画課、消防本部、消防団、支所)				
	316	民放ラジオへの割り込み依頼(避難指示(緊急))				
	317	マスコミへのFAX送信(避難指示(緊急))				
	318	災害危険地域における現場対応者の撤退完了				
現場対応者の安全確保の対応	災害対応従事者の安全確保	319	委託業者を含む現場作業員避難完了			
		320	避難支援者への危険情報の周知			
	避難支援者の安全確保	321	災害の危険性のある場所からの支援者の撤退			
		322	避難支援者の安全確保状況の確認			

市町村タイムライン(川、 川、 川) H30.7 詳細版

フェーズ	主な対応	具体的な対応	管理 No	詳細項目	
タイムラインステージ7(自動的に移行) (避難指示(緊急))					
目安の時間 -0h	情報収集・分析	気象情報の収集	323	地方気象台への助言依頼	次の行動に判断がつかない場合は、気象台に今後の気象予測について助言を求める。
			324	これから外に出ることは危険であることを周知	
	住民への安全確保の呼びかけ	安全確保行動の呼びかけ	325	逃げ遅れた場合には最悪でも2階等へ逃げることを周知	
			326	民放ラジオへの割り込み依頼(氾濫発生の場合)	
	マスコミと連携した広報の実施	マスコミと連携した広報の実施	327	マスコミへのFAX送信(氾濫発生の場合)	
			328	避難所担当職員の交代要員の確保(人員増の場合、人事課協議)	
	住民避難対応の実施	避難所運営の継続	329	各避難所の必要物資のリスタップ	
			330	被害状況に応じ自衛隊への災害派遣要請(県知事へ要請)	
	災害派遣要請	自衛隊へ災害派遣要請	331	公共施設の損傷報告指示	
			332	県への被害状況の報告	
	被害状況の把握	被害状況の報告	333	排水対応の後処理完了	
			334	交通規制の後処理完了	
	後処理	後処理	335	自衛隊への災害派遣撤収要請(県知事へ要請)	
			336	被害状況の集約	